

No.27

令和3年6月

防府市文化協会だより

防府市文化協会
(防府市文化財郷土資料館3F)
TEL/FAX 0835-26-6841

第51回 防府市民文化祭のようす



受付のようす



山頭火の仏心



花扇の会



藍と愛の会



書道作品展

雅会▶



イクエフラ PDC



◀ 牟礼フォークダンス同好会



南京玉すだれ山口保存会

防府市文化協会会員ふれあい文化事業は、文化協会団体会員で総数22の団体が、9月に第1弾、11月に第2弾、12月に第3弾を実施。入場の際には、コロナ禍の中、氏名・連絡先を記入して頂き、マスク着用・検温・手指の消毒を呼びかけ、のべ1,200人のご来場者をお迎えして無事終了しました。

令和三年度に向けて

防府市文化協会

会長 岡本早智子



昨春から始まった新型コロナウイルスの問題は、まだ、予断を許さない毎日ですが、皆様には、お元気で過ごして下さい。

さて、令和二年度防府市民文化祭についてご報告ですが、実は、例年通りに開催出来たのは、「市民音楽祭」のみでしたが、入場者と出演者が一体となって楽しむ、良い雰囲気、音楽祭でした。その他は、コロナ関連の様々な事情により、開催出来ないとの申し出ばかりでした。しかし、これも、関係の皆様には大変なご心痛をおかけした上での結果だったと考えられますので、止むを得ません。

そこで、急遽、「防府市文化協会会員ふれあい文化事業」として、活動発表可能な加入団体を募ってみることにしたわけですが、その結果、九月(第一弾)、十一月(第二弾)、十二月(第三弾)に分けて、合計二十二団体の活動発表・交流の機会が実現し、この間の参加者(入場者)は、延べ千二百人程になりました。参加団体からも、大変喜ばれました。

お陰様で、防府市からご支援をいただいているこの事業の役割を、ある程度果たせたかと、安堵しているところです。

令和三年度も、まだ、例年に戻るのか否か分かりませんが、その都度、役員及び会員の皆様としっかり向き合いながら、一緒に歩んで行きたいと考えますので、よろしくお願いたします。

新役員紹介

常任理事	映像部門	西村 一
常任理事	防府市美術連盟	会長 原田 信夫
常任理事	中学校校長会	校長 小幡 治生
理事	青年会議所	理事長 温品 義仁
監事		佐藤 文彌

〈旧山頭火の部屋イベント情報〉

一 ラベンダーの会

七月二十二日(木) 十時～十五時

ラベンダーを使ってのうちわ作り

材料費五百円

二 周防ちはや神楽保存会による展示

八月二十八日(土) 十三時～十七時、

二十九日(日) 十時～十五時

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、マスク着用・手指消毒・連絡先記入。会場内入場に制限があるため、係員の指示にご協力願います。

『山頭火の部屋の活用について』

旧「種田山頭火の部屋」の活用から始まる「市民ギャラリー」の整備について

防府市文化協会 会長 岡本早智子

市広報「ほうふ」四月一日号で既にご案内のとおり、アスピラート一階の旧「種田山頭火の部屋」のスペース等を活用し、改修して、「市民ギャラリー」が今年度中に整備されることとなりました。

この取組みは、市民の自主的な文化活動を盛んにし、防府市の文化の薫り高いまちづくりに貢献することを目指す。指している当会にとつては、長い間、待ち望んでいたことろであり、会員の皆様も、さぞ、喜ばれ、安堵されたことでしょう。

そこで今は、この市民ギャラリーが整備された後、順調にスタート出来るように、音楽で言えば序奏部分として、次の様な活動を進めております。それは、改修工事が始まる(今年十一月迄)のことですが、当会の会員が中心となり、旧「種田山頭火の部屋」を使って、各団体・個人の日頃からの活動の発表を行い、入場者に披露するという活動です。お蔭様で昨年の十一月から今月まで、会員の皆様の絶大な熱意とご協力により、次々と素晴らしい発表が見られ、入場者数も想定を越えているのが現状です。本当に有難うございます。

これからも、発表しようというお気持ちになられた団体や個人の方々は、お気軽に、文化協会の岡崎事務局長にご相談下さい。(☎二六、一六八四一)

また、他団体(他の会員)の発表についても関心を持って、お気軽にアスピラート一階にお越し頂き、入場者の一人として、良き理解者として、ご参加下さるよう、よろしくお願ひいたします。なお、活動発表のスケジュールは、文化協会に尋ねるか、防府市の文化・スポーツ課内文化協会ホームページでご確認下さい。

今こそ、防府市文化協会の全会員が一丸となり、協力し合い、総力をあげて、「市民ギャラリー」の整備と順調な発展を成功させましょう。

事業部会の改訂について

防府市文化協会会則十七条(事業部会)に「市民文化活動発表・交流事業部会」設置

事務局長 岡崎久美子

当協会の活動については、日頃より暖かいご支援・ご協力を賜りまして誠に有難うございます。

本年度は、特にアスピラート一階「旧山頭火の部屋」において、当協会会員の皆さまによる文化・芸術活動の展示等による発表事業を展開しておりますが、会員の皆さまからは、「新しく活動できる場ができた」と喜んで頂き、来場者の皆さまには、「楽しみにできる場が増えた」と大変好評を得ております。

ついでに、「輝き！ほうふプラン」防府市第五次総合計画(令和三年～令和七年)に示されておりますように、今後この「旧山頭火の部屋」の活動が「市民ギャラリー」の活動へと発展した時にも、さらに有意義で順調に推進して行けるように、当協会会則十七条に新しい事業部会「市民文化活動発表・交流事業部会」を設置することとなりました。

この部会には、例年開催している防府市民文化祭に関する事業を推進して行く「防府市民文化祭準備委員会」と当面は、アスピラート一階「旧山頭火の部屋」での活動推進を図る「旧山頭火の部屋活動推進委員会」を置き、各委員会では、事業の企画準備や広報活動等に今まで以上に積極的に関わって頂くことになるかと思いますが、お力添え頂ければ心強く思います。

また、各委員会に最もお願いしたいのは、これらの委員会が形骸化することなく、事業内容の振り返り等を行ないながら、各委員の経験をもとに、分野を越えて新しい発想を吹き込んで頂きたいのです。そうすれば、委員会も絶えず新しい事業を生み出し、事業の継続と発展につなげていくことにもなると考えております。今後も、文化・芸術を大切に思う方々と共に様々な達成感を共有しながら、微力ながら、防府市文化協会のお役に立てれば幸いです。

今年度の活動が、次年度の活動へとさらなる飛躍に繋がりますよう、なにとぞよろしくご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

すずらん会

第五十一回防府市民文化祭

ふれあい文化事業第三弾に参加させていただいて

すずらん会 藤井いく子

平成七年頃から押し花ブームが始まり、色とりどりのお花・野草・野の花・木の新芽等乾燥マットに挟み四、五日目に取り出す時のわくわく感は二十年以上経った今も変わりません。

ピンク色の花びらが押し上がったら紫色に変わっていき驚くことも度々です。

テレビのスタジオで外国人と日本の押し花作家が作品作りを見たり、広島県や県内のあちこちでの展示会を観賞して回りましたが、五・六年前頃からブームは去ったのでしょうか。それとも押し花作家やインストラクターが高齢になられたからでしょうか？防府市での講座もなくなってしまいました。私たちの先生も体調を崩されて辞められて、その後も三人で一ヶ月に一度公民館をお借りして作品作りをしています。

この度、市民文化祭に参加させて頂き自分達の作品を自分達で展示するのは初めてで不安で眠れない日もありましたが、文化協会の方々や美術の山田史生さんに手助けして頂き無事展示する事が出来感謝しています。開催中は、コロナ禍の中多くの人が観に来て下さり、喜んで頂きながらお話も聞けて有意義な時を過ぎて感謝しています。これからもいい作品が出来るよう頑張っていきたいと思えます。



ほうふ水彩画倶楽部

ふれあい文化事業に参加して

ほうふ水彩画倶楽部 代表 青木 靖男

「ほうふ水彩画倶楽部」(以下当会)は、「個性を大切に、楽しく水彩画を描こう」と、二〇〇四年から活動しています。主な内容は、月例の制作実習や年一度の作品発表会「遊画な仲間展」開催等です。

昨年は市民文化祭「文化協会ふれあい文化事業」に、当会も前述の作品発表会を兼ねた形で参加させていただきました。新型コロナウイルス感染予防のため、入場制限や開催時間短縮などの制約の多い開催でしたが、文化協会はじめ関係者の方々の万全な体制対応により、十分にその目的を達成することが出来ました。厚くお礼申し上げます。

開催期間中二日間は、都合によりジャンルの異なる他の団体様との会場共用(シェア)となりましたが、会場有効活用、集客相乗効果、相互交流等の観点から、当事業の主旨に沿う好結果となりました。



ラベンダーの会

防府市文化協会主催

「ふれあい文化事業」に参加して

ラベンダーの会 代表 熊安 悦子

令和二年十二月五日(土)、防府アスピラート二階リハーサル室にて、私たちラベンダーの会は、ハーブを使ったスワッグ(花や葉などの小枝を使った束)をレモンガラスの輪飾りに飾り付けたクリスマス作りからお正月飾りに変えられるように変化を楽しめる飾りを作りました。フレッシュなハーブを使つてのこの壁飾りはオリジナル性があり、飾るだけで香りも良く癒されます。今回は、池田市長さんもお見えになり励ましていただきました。

植栽場所は右田高井山寄にある「えこの里」です。これらの勉強会場所は、えこの里や右田公民館などを使用しています。恒例の勉強会は毎月第四木曜日十三時三十分から二時間を予定しています。ご関心のある方はお問い合わせください。(二二一〇九三二)

園芸療法的活動で皆さんが植物を育て利用し楽しくなる活動をしています。今回、皆さんの反応は上々で、コロナ禍にあり、規模縮小、地域限定もあり、少々残念でしたが参加されたお客さんが大変喜ばれ、「良い香りでも癒されました。」とおっしゃり、我々スタッフもこれからもコロナに負けず頑張ろうと話し合いました。

またの機会を楽しみにしていますので皆様宜しくお願ひ申し上げます。



スケッチサークル十色会

スケッチで人生を心豊かに

スケッチサークル十色会 としろくかい 藤村 涼子

スケッチサークル十色会は、防府市の生涯学習講座を起点として、平成二十六年四月に始まり、七年目を迎えました。熊崎範男先生の指導のもと、水彩スケッチを通して豊かな人生を楽しむことをモットーに、二十一名のメンバーで活動しています。

令和二年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動も自粛せざるを得ない状況となり、オンラインでのサークル活動などで対策を取りながら継続しています。

そのような状況の中、アスピラートで行われた防府市文化協会会員ふれあい文化事業に、作品展という形で参加させていただくことができました。来場された方からは、防府市内外の風景スケッチを鑑賞されて、防府巡りをしたようだという声もいただきました。水彩スケッチを身近に感じてもらえたのではないかと思います。

メンバーにとっても、今後の活動の力となり、大変意義深いものとなりました。

このような状況下、様々な支援に助けられ活動させていただけることを感謝し、今後とも皆で元気に楽しく続けて行きたいと考えています。



着付サークル

「着付を通して、

和装のマナーや着物の知識を学ぶ」

着付サークル 山本 静枝

私達「着付サークル」は、多田悦子先生のご指導の下、月二回活動しています。

○一人で着物が着れるようになりたい。○娘の晴れ着を自分で着せたい。○着物の方に接する機会があり、

知識やマナーを身に付けたい等、動機は様々ですが、日常の生活の中で月二回の着物と接する時間は、とても楽しいひとときです。

令和二年十二月二日（水）に防府市文化協会会員ふれあい文化事業第三弾に参加し、「半幅帯でのいろんな結び方」を見ていただくことができました。着物に興味のある方、是非御一緒しませんか。見学をお待ちしています。

第二・第四火曜日

午後一時半～午後三時半



着物リメイクGroupode Rosas

愛着のある世界でひとつだけのもの

着物リメイクGroupode Rosas

道永 朋恵

「グルポデロサス」と読みます。いつまでも美しくとの願いを込めてスペイン語で【バラの会】と名付けました。平成二十八年二月に発足して今年で五年目になりました。会員数十人で月一回アットホームな雰囲気で開催しています。講師には天神にある【一会くいちえ】の田中ヨシ子先生にご指導頂いています。

コロナの影響で自粛期間もありましたが、活動ができない中でもたくさん作品が出来ました。十二月には、ふれあい文化事業第三弾の参加の機会を頂き、「衣服のリフォーム」と協同により、アスピラートリハーサル室にて力作を発表できましたことを会員一同喜んでいきます。自然にお互いを褒めながら、和気あいあいと笑顔で活動をしています。

着物や洋裁、小物などに興味のある方は是非一緒に愛着のある世界でひとつだけのものをチクチク縫ってみませんか？



「民謡を唄える喜びを感じた

ふれあい文化事業」

防長民謡会 青木 公子

昨年からは新型コロナウイルス感染が大流行ですが、我々の私生活や趣味の活動についても大幅に制限され大変厳しい日々が続いております。

さて、私たちの防長民謡会は、四十年余り先輩から引き継ぎ少人数ながら活動を続けております。自分の楽しみであり、民謡のよさを伝えたい気持ちでがんばっています。民謡は、民衆の中から生まれ「心の故郷」を感じる唄です。民謡を聴けば故郷を想い、旅先で聴いた民謡は、旅の思い出として残ることでしょう。

昨年行なわれました「ふれあい文化事業」では、久しぶりに皆様の前で発表出来る事を楽しみにしていました。コロナの影響で、発声することが出来ず残念な思いをしました。しかしながら、それでも、民謡会としてチャンスを得た幸せを、民謡を知ってもらいたく山口県民謡「長州音頭」を心の中で唄いながら、CDでお客様と踊り楽しいひとときを過ごすことが出来ました。三味線部は「サクラ」を演奏。三味線の音色を聴き癒されたことでしょう。

コロナが早く収束することをお願い、民謡を唄えることの喜びを身体いっぱい感じる日が来るとともに再び皆様にお会い出来る日を願っています。



藍と愛の会 会長 鮎村 秀子

コロナ禍ですべての行事が中止になる中、文化協会会長の英断で、防府市民文化祭が開催された。日頃の精進の結果をメンバー一同がアスピラート一階（旧山頭火の部屋）で大いに意気をあげた。

勿論藍染ものがメインではあったが、孫娘のためにと張り切った四つ身振袖、その昔「まっすぐな道は淋しい」との山頭火の句を頂戴した作品をはじめ、一同が知恵を絞った結果、それぞれの展示が場所を得て美しく活き活きと来場者を迎え、ケースの小物まで嬉しそうであった。

唯一の洋画「藍色のブルーベリー」一〇〇号の大作が会場を引締めていた。

会員一同の一致協力のお蔭でこの時期にもかかわらず来場者千二百人という嬉しい結果となり、一同感激で胸一杯であった。「又、頑張ろうね。」と元気が湧いてきて、関わったものすべてが喜びを別ち合った。

早く悪い病気などが終息し、来年の市民文化祭がより一層見ごたえのあるものとなる事を願って「文化祭を盛り上げよう」と決意を新たにされた次第である。



防府市民文化祭に初参加!

会長 勝間 幸次

当会は平成二十年一月に会員十一名で、防府市勝間公民館に於いて創立し、以来早いもので十三年が経過しました。

この間、地域の皆さまに「南京玉すだれ」の芸を主体に、ささら踊りや傘踊り、また、会員の得意芸として、津軽三味線やオカリナ演奏、マジック等も楽しんで頂いております。

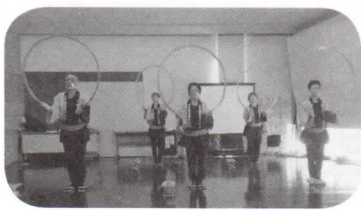
これまでに福祉施設の慰問活動・地域イベント等ボランティア参加活動は、三百回を越えました。特に一昨年は、当会創立以来最高となる年間三十九回参加しましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症のため、年間十回に激減しました。

また、会員数も二十人余りから、高齢化や健康面等から十三人に減少し、今後、会員数増に向けて努力して参りたいと思います。

このような中、昨年は令和二年度防府市民文化祭防府市文化協会会員ふれあい文化事業に初参加し、会場の皆さんに「南京玉すだれ・傘踊り・ささら踊り」を楽しんで頂きました。

室町時代に「編み竹踊り」が独立して演じられたのが始まりと言われる「南京玉すだれ」は、軽妙な唄とリズムと動作で、観る人の心を和やかにする「見立て芸」です。

あなたも会員になって「南京玉すだれ」を習得してみませんか！人生が楽しくなりますよ！



旧山頭火の部屋にて

絵画展「神秘の交響」を終えて

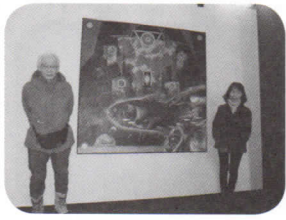
遠藤 春生

アスピラート一階旧山頭火の部屋での絵画展は、私にとつて大変勉強になりました。コロナ禍ではありましたが、大勢の方に来廊頂く事が出来ました。又嚴重なコロナ対策で感染者が出なかったことを非常に嬉しく思っております。

個展を終えた感想は、コロナの関係で市内在住者のみではありましたが、新しい方、お若い方との出会いもあり、有意義で楽しい交流が出来ました。展示スペースも丁度良い広さで、どなたでも気軽に個展が出来るスペースだと思います。防府には画廊が一軒もない街です。市が、こういう個人的な発表の場を提供して下さいさることは、大変有意義であると感じます。

私は、芸術が明るい社会の糧となることを強く願っております。芸術は、とても重要な人の行為です。直接的な利害ではなく、心の利として蓄積されるべきと考えております。画家として、私も今後水彩画の技術向上に努め、絵画教室及び発表を通して皆様と快い交流をして参りたいと思っております。

最後に、防府市文化協会、地域交流センターアスピラートの皆様の暖かいご支援を得て緊張感なくスムーズに終始出来ましたことに、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



色鉛筆のなかま達展を開催して

代表 光元 裕子

この度第五十一回防府市民文化祭ふれあい文化事業として、色鉛筆のなかま達展を開かせて頂き大変お世話になりました。

出品者の「色鉛筆のなかま」とはサンライフ防府の講座で、講師をしております私と教室の生徒さん達の事です。展覧会など未経験のこの生徒さん達の熱心さと上達ぶりが、私にグループ展を開くことを決心させました。講座の発表会とするならば、観に来られた方々はびっくりするほどの完成度であるとの確信を持つての開催でありその通りの内容となりました。

「決めた。グループ展やる！」と、いきなり私から告げられた参加者(つまり講座の生徒さん達)は、それから各々絵の額を買って揃え全員で受付を割り振りし、チラシやハガキを配り：：と、振り回されてしまったかも知れません。でも当初は皆、自信なさげだったのが友人知人に観て頂く事によって、自分達で展覧会を作り上げる楽しさを味わっている、その様子に私自身も感動しました。

開催の三月十八日(木)～三月二十八日(日)の中で休館日一日を挟み十日間で総勢四百三十名の方々に観て頂く事ができました。二回観に来て下さった防府市長をはじめ、各方面の方々にはメンバー全員から心よりのお礼を申し上げます。これを励みに今後も創作活動を行って参ります。



私達のサークル日本舞踊花扇の会は、みんな楽しく踊りの勉強をする事と、会員が高齢者の為、健康づくりと脳トレを兼ねてを、もう一つの目的としてお稽古しています。

活動としては、公民館の文化祭・各地域でのイベント参加・老人施設への慰問等を行なっています。残念ながら令和二年は、新型コロナウイルス流行のため全て中止となりましたが、「防府市文化協会会員ふれあい文化事業」に参加させて頂き、他の会員の皆様とも交流ができ嬉しく思いました。

いつの日かコロナウイルスが収束して、日頃のお稽古が発表できる日を楽しみにして日々努力しています。



令和二年度 支援事業部報告

令和二年度支援事業部会員募集については、新型コロナウイルス感染症拡大により、部内で審議した結果中止となりました。

なお、支援事業部助成金については、市広報六月一日号と十一月一日号において、募集しましたが、応募がありませんでした。

令和二年度

団体会員

〈文芸〉 8団体

- 初めての自由律俳句の会みもぎ
- 防府詩の会
- 種田山頭火顕彰会
- 防府市俳句協会
- 防府市民川柳会
- 防府市民短歌会
- 防府市民文芸自由律俳句の会
- 防府図書館自由律句講座

〈美術〉 20団体

- 書研・風信会
- ほうふ水彩画倶楽部
- 書友会
- すずらん会
- スケッチサークル十色会
- たんぽぽの会
- 鎌倉彫・木彫サークル
- さくらの会
- 絵手紙同好会
- 防府市書道連盟
- 書研 鳩山書院
- 大濤書道会
- レザークラフトひまわり
- 彫歩会
- 面龍会
- アトリエ 8
- 西日本墨仙会
- 花桜の会
- 藍と愛の会
- 防府市美術連盟

〈音楽〉 15団体

- オカリナ花みぎ

- 合唱組曲佐波川を歌う会
- チエロアンサンブル
- ラル5

- 日本クラウ協会
- 防府市民合唱団
- 勝間ギターアンサンブル
- 防府マンドリリング
- タールサンズ
- コール・シオン
- 大正琴さんご樹
- 防府ウインドシンフォニー
- 大村能章顕彰会
- 防府音楽連盟
- 堀江鴻とハワイアン
- ドリームズ
- サルビア・コール
- 防府ふるさとコール

〈邦楽〉 26団体

- 都山流尺八楽範山会
- 上田流尺八道管友会
- 都山流山口県支部松山会
- 日本吟舞曾光流曾光会
- 日本防府吟道桑誠会
- 鷲明吟詠会防府総支部
- 吟詠岳奨会
- 萌えぎ会
- 和歌奈会
- 長宗閑祥会
- 鶴千栄会
- 千鶴の会
- 吉冬貴の会
- 友貴の会
- 吉祐矢の会
- 冬花の会
- 茜屋出雲流 松姿会
- 防長民謡会
- 浜子うた保存会
- 防府詩吟連合会
- 防府邦楽舞踊連盟

- 日本舞踊花扇の会
- 吟道師範会
- 雅会

- 茜屋出雲流 松姿会
- 茜屋出雲流 松賀会
- ホームヨーガ
- フラプアケニケニ&タヒチアン フェティイ
- のびのび健康体操
- ベースニック会
- ムーメント会
- アロハ・フラ フレレンズ
- ウオーキングヨガ
- フオークダンス研究会
- 太極拳なごみの会
- 龍華の会
- 健康ヨーガ倶楽部
- ハウオリーズ・マサコアケタフラスタジ
- オ山口
- 体操サークル
- スウィーティイ
- イクエ フラ PDC
- 3B体操
- 牟礼フオークダンス
- 同好会
- 谷淑江 スペイン舞踊
- スタジオダンサルテ
- 重藤亜季バレエスタジオ
- Izumi Ballet Studio
- キミエダンススタジオ
- カパーカーカウイオクウプアレファ
- ティアアラ・バレエアート
- 防府市洋舞の会

〈洋舞〉 23団体

〈映画〉 1団体

- 防府映像サークル

〈歴史〉 2団体

- 防府野村望東尼会
- 防府史談会

〈生活文化〉 33団体

- 煎茶道三癸亭賣茶流
- 衣服のリフォーム
- 着物リメイク教室
- Gruppo de Rosas
- さくらんぼ
- 華道家元池坊防府支部
- 表流防和会
- 手編み同好会
- 茶道裏千家淡交会
- 山口支部
- 表千家青年部防府地区
- 大道盆栽会
- 子供そろばん
- 専心池坊山口県中部支部
- オレンジ
- 萌の会
- 柴山古流清風会
- (二財)小原流防府支部
- カントリドールを作る会
- 日本礼道小笠原流煎茶
- 華道二葉流山口県支部
- 山本百次会 子ども組
- 防府市華道連盟
- ハープの会
- 華城地区伝統文化
- いけばな教室
- 専心池坊防府会
- 専心小笠原流煎茶防府会
- 水月会防府支部
- 草月流新光会
- 着物の会

ラベンダーの会

- 着付サークル
- 若葉会
- わか翠グループ
- 防府茶道連盟

〈民俗芸能〉 5団体

- 中関塩浜唄の会
- 防府民俗芸能連盟
- 古典芸能南京玉すだれ
- 山口保存会
- 笑い講
- 国府の節保存会

〈福祉〉 3団体

- 新田地区社会福祉協議会
- 防府中央ライオンズクラブ
- 防府ライオンズクラブ

〈学術〉 9団体

- 日本郵趣協会防府支部
- 山口県退職公務員連盟
- 防府支部
- ホーリー会
- 牟礼校区子ども会
- 防府天満宮
- ふるさと大道を掘り起こす会
- 防府市老人クラブ連合会
- 防府市退職校長会
- ままはあと

合計145団体

令和二年度

個人会員

邦楽

- 小林 範山
- 若柳吉冬貴
- 若柳吉祐矢
- 若柳吉豊生
- 若柳 冬花
- 睦 友貴
- 中村 美恵
- 益富美奈子
- 山根 和恵
- 高山 志穂
- 徳永 信子
- 橋本 久子
- 花柳扇千鶴
- 花柳千鶴瑞樹
- 花柳千鶴露
- 若柳貴吉奏
- 山田 茉莉
- 花柳千鶴紀寛
- 花柳千鶴美麗
- 花柳千鶴庵華
- 花柳千鶴夢
- 池本 千賀
- 藤村美登里
- 藤井 桂子
- 松根 君枝
- 吉武真由美

洋舞

- 西山 晋
- 谷 博子
- 窪田 耕二
- 富永 鳩山
- 羽仁 和子
- 門田美和子
- 藤本 征子
- 倉床 節子
- 藤井 繁美

文芸

- 佐藤 文彌
- 石井 弘一
- 中村 正規
- 三戸志津江
- 森坂 達夫
- 斎藤 智
- 吉川 知至
- 岡本早智子
- 長野 嘉久
- 岡田 利雄
- 中司千瀬子
- 伊藤 秀和
- 米村 雄二
- 山田 梓江
- 山田 史生
- 遠藤 春生
- 光元 裕子
- 高森 哲郎
- 坪郷 好夫
- 高橋千代子
- 西村 一
- 津森 伸彦
- 市川 和彦
- 吉次 泰毅
- 石丸 恵子
- 國廣 誉爾
- 畔田 京子
- 相山 淳子
- 合計63名

文芸

- 佐藤 文彌
- 石井 弘一
- 中村 正規
- 三戸志津江
- 森坂 達夫
- 斎藤 智
- 吉川 知至
- 岡本早智子
- 長野 嘉久
- 岡田 利雄
- 中司千瀬子
- 伊藤 秀和
- 米村 雄二
- 山田 梓江
- 山田 史生
- 遠藤 春生
- 光元 裕子
- 高森 哲郎
- 坪郷 好夫
- 高橋千代子
- 西村 一
- 津森 伸彦
- 市川 和彦
- 吉次 泰毅
- 石丸 恵子
- 國廣 誉爾
- 畔田 京子
- 相山 淳子
- 合計63名

令和二年度事業計画

- 六月十九日(土) 十時 防府市文化協会表彰式 (文化福祉会館)
- 八月八日(日) 市民自由律俳句大会
- 九月五日(日) 市民俳句大会
- 十月二日(土) 市民文化祭 盆栽展
- 十月三日(日) 市民短歌大会
- 十月十七日(日) 市民文化祭 洋舞フェスティバル
- 十月二十四日(日) 市民川柳大会
- 市民文化祭
- 市民音楽祭
- 十一月六日(土) 市民文化祭 ビデオ作品上映会
- 十一月七日(日) 市民文化祭 邦楽の会
- 十一月十九日(金) 市民文化祭 市民茶会席 健康相談
- 十一月二十日(土) 華道展
- 十一月二十一日(日) 市民文化祭
- 十二月八日(水) 市民文化祭
- 十二月十二日(日) 第七十回市美術展

令和三年度 防府市文化協会役員

○=常任理事

役員	氏名	選出母体
顧問	岡田 利雄	個人
会長	岡本早智子	防府野村望東尼会
副会長	小林 範山	防府邦楽舞踊連盟
副会長	西山 晋	防府市洋舞の会
監事	清澄 邦夫	防府映像サークル
新 監事	佐藤 文彌	個人
○ 常任理事	理事	選出母体
○	門田美和子	初めての自由律俳句の会みもぞ
新 ○	原田 信夫	防府市美術連盟
○	山田 史生	防府市美術連盟
	河村 澄心	大濤書道会
	飴村 秀子	藍と愛の会
○	石川 功	防府音楽連盟
	河野 隆文	防府市民合唱団
○	若柳吉冬貴	吉冬貴の会
	永田 菅堂	上田流尺八菅友会
	花柳扇千鶴	千鶴の会

○ 常任理事	理事	選出母体
	徳本喜美恵	キミエダンススタジオ
	田村 梨乃	ティアラ・バレエアート
○	石川 雅子	防府市華道連盟
	高橋 宗周	防府茶道連盟
○	桑原 一朗	防府民俗芸能連盟
○	坪郷 好夫	華浦地区社会福祉協議会
○	斎藤 智	日本郵趣協会防府支部
新 ○	西村 一	個人
	高良 哲也	小学校長会
新	小幡 治生	中学校長会
○	深田 慎治	支援事業部
	鈴木 宏明	防府天満宮
新	温品 義仁	防府青年会議所
○	栗原 努	地域交流部文化・スポーツ課長
	河村 俊之	(公財)防府市文化振興財団地域交流センター館長

事務局 岡崎久美子

文化協会会員募集

防府市文化協会は、みなさんの文化・芸術に関する発表事業及び研究・顕彰・啓発事業のお手伝いをする団体です。

《年会費》
 団体会員 (第一号会員) 三千元
 個人会員 (第二号会員) 千五百円

《会員の特典》
 *個人会員
 ① 年一回の主催事業への無料招待及び割引招待
 *団体会員
 ① 加入団体の各種行事に対する文化協会の共催・後援
 ② 文化福祉会館・公民館の施設(文化福祉会館大会議室を除く) 月一回一区分無料利用
 ③ 会員であればアスビラート1F旧山頭火の部屋が無料で使用できます

ただし、電気代等実費用分は有料となりますので、申し込まれる時に必ず各施設にご確認ください。

《入会方法》
 「入会申込書」に会費を添えて文化協会事務局へ。なお、団体会員については、会員名簿(氏名のみ)を必ず添付してください。

《期限》
 年度の4/1～翌3/31までの一年間(年度ごと更新)

《問合せ》
 防府市文化協会事務局 (防府市文化財郷土資料館三階)
 TEL・FAX 〇八三五―二六八四(一) 〇八三五―二六八四(二)

※申込書は、市文化・スポーツ課のホームページからダウンロードできます。

編集

委員長 西山 晋
 委員 佐藤 文彌
 石川 雅子

発行

〒七四七-〇八〇八
 防府市桑山二丁目一―一
 防府市文化財郷土資料館
 三階 防府市文化協会
 TEL/FAX 〇八三五
 (二六) 六八四一
 令和三年六月

編集後記

文化協会だよりは、協会の機関誌として活動の状況を会員の皆さんにお知らせする大事な役割を持っていますが、一方的な情報発信だけでなく、会員の皆様の情報交換に役立つ事が出来たらもっと親しんでもらえるのかなと思います。

「文化協会だより」の発行が待ち遠しい」と言われる機関紙になれば、文化協会も活性化・市民文化活動が盛り上がるのでは・・・。

皆様からのご意見、投稿がたくさん寄せられる事を期待しています。

